

下水道布設後の 舗装状況がよくない



島田 栄一



町長

現状を確認し、舗装工事を
実施したい



ずさんな道路管理が見られる

質問 下水道布設工事のため、道路を掘り起こし、埋め立てた道路は、つぎはぎ、でこぼこで舗装状況がよくない。川井区長は先般、住民の署名を添付して要望書を提出したところである。町はどのように対処するか。

町長 この件について、川井区長から要望書が提出されているのは承知している。現状の確認を行い、段差等の不具合が生じている道路は舗装工事を実施していきたい。

田んぼへの用水高の 解消を

質問 長年の懸案であるが、農場所があり、用水が思うように入らない所がある。何とか改修できないか。

町長 田んぼの面と用水路の高低差を解消するには用水路のかさ上げ等の手法が考えられるが、接続用水路との勾配調整等、技術的検証が必要である。国や県の補助金の対象になるか等、総合的に判断し事業の方向性を決めていきたい。

質問 川井の田んぼの用水路に流れる水は、90%以上鯉沢の排水利用である。そのため膨大なごみの処理で苦勞している。何か改善策は考えられないか。

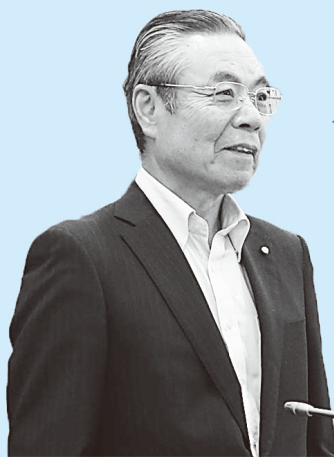
町長 町内全域には網の目のように水路が配置されており、町ですべてを管理す

東部工業団地拡張の 進捗状況は

質問 東部工業団地の拡張について進捗状況はどのようになっているか。

町長 現在、文化財の調査を行っており、秋以降造成工事に着手したい。その後進出企業の募集を開始し、平成29年秋以降、企業に引き渡していきたい。

※1 「玉村町版生涯活躍のまち構想」 の策定状況は



宇津木 治宣



町長

地域資源を活用し魅力ある
「生涯活躍のまち」を描く

質問 「玉村町版生涯活躍のまち構想」（玉村町版CCRC生涯活躍のまち構想）の策定状況は。

町長 当町の農業、医療、子育て環境といった地域資源を生かすことのできる当町にふさわしい「生涯活躍のまち」のあり方を検討する。

質問 移住者の受け入れに伴う町財政への影響はどうか。

町長 移住者が要介護になった場合でも、介護給付における当町の負担額よりも、介護にかかわる消費額が上回るものと期待している。また、移住者はシニア層だけでなく、ファミリー層も取り込みたいと考えている。

質問 移住者は、介護保険の住所特例を受けられるのか。

健康福祉課長 転入時に有料老人ホーム等に入所すれば住所特例を受けられる

が、一般の住宅等では特例は受けられない。

質問 移住者が介護を受ける状況になったとき、その受け皿が懸念される。

町長 移住者の加齢に伴い、要介護になる可能性はある。当町においても、今後介護需要は増加し、その受け皿を整えていく必要がある。

質問 東京圏などで暮らす高齢者が移住したくなる魅力的な地域をつくれるのか。

町長 東京圏などで暮らす方々に、当町への移住を決定させることは、容易ではない。地域資源を活用し、いかに魅力ある「生涯活躍のまち」を描くことができるのか、今後検討したい。

学校給食費の 無料化の推進を

質問 給食費を免除、補助している県内自治体は、前橋市、太田市など12自治体になっている。当町においても、学校給食費の無料化実施を。

町長 子育て世代の支援に必要な施策だ。財政状況を踏まえ、小学生の給食費の半額補助実施に向け努力していきたい。



未来の子どもたちへの施策を

※1「玉村町版生涯活躍のまちとは」ファミリ層からシニア層までの幅広い年齢層に対応する玉村町独自のCCRC構想。健康時から介護時まで継続的にケアを提供する共同体を「CCRC」といい、国は日本版CCRCを「生涯活躍のまち」と名付けて地方創生の柱としている。

※2「住所特例とは」施設所在市町村に介護費用の財政負担が集中するのを防ぐため、特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所して住所を施設所在地に変更した場合、その入所者を住所変更前の市町村の被保険者とする制度。